

広島市介護マイスター養成支援事業の拡充について

1 事業の目的

介護職員の資質の向上やキャリア形成を図るとともに、その社会的評価を高め、優秀な介護人材の確保・定着を促進する。

2 事業の内容

(1) 介護マイスター養成支援補助

国の「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」におけるアセッサー（評価者）の登録者、レベル4以上の認定取得者を「ひろしま介護マイスター」に認定し、当該者を養成した介護サービス事業者に対し、その段位区分等の人数に応じた補助金（いずれの区分も認定者1人当たり10万円）を交付する。

※ 本来、アセッサーはレベル4認定者であることが要件であるが、まだレベル4認定者が少ない現状に鑑み、レベル4未認定者であっても、暫定措置によりアセッサー登録は可能。

本市の補助制度においては、アセッサーレベルの差異を勘案し、レベル4取得者は20万円／人、レベル4未取得者（暫定措置）は10万円／人としている。

〔交付条件〕

- ① 介護職員処遇改善加算を算定していること。
- ② 介護サービスの中核を担う人材の育成方針を定めていること。

【拡充】新規養成事業所に対する上乗せ奨励金の支給

介護マイスターを初めて養成した事業所に対し、奨励金を1事業所当たり5万円を上乗せして交付する。

(2) 「ひろしま介護マイスター」のロゴ入りステッカー等の配布

「ひろしま介護マイスター」の認定者に認定証を交付し、「ひろしま介護マイスター」を養成した介護事業所にロゴ入りステッカーを配付する。

(3) ひろしま介護マイスター養成支援事業普及促進セミナー

介護サービス事業所を運営している法人等に、キャリア段位制度の運営事務局による制度説明を行うほか、キャリア段位制度を活用した質の高い介護人材の育成・定着の促進を図るため、職員のキャリアパスや処遇改善の取組として当該段位制度を活用している法人等による事例発表を行う。

(4) 介護マイスター養成事業所の広報

介護サービス利用者や居宅介護支援事業者及び包括支援センターに対してマイスター養成事業所一覧を配布し、介護マイスターの積極的な周知を行う。

【参考】マイスター養成実績（令和3年2月末現在）

- ・法人数 52法人
- ・事業所数 120事業所
- ・養成人数（認定者数） 268人
 - 内訳 レベル4 18人
 - アセッサーのみ 250人